

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 26 年度第 3 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 6 月 2 日 (月)
午前 14 時 00 分から午後 17 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 851 号室
(東京都文区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 17 名 (定足数 11 名 会議成立)
オブザーバー 7 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 木村 学
理事 中村 正人
理事 ウォリス サイモン
理事 奥村 晃史
理事 北 和之 (Skype 出席)
理事 高橋 幸弘 (Skype 出席)
理事 瀧上 豊
理事 田中 賢治
理事 成瀬 元
理事 西 弘嗣
理事 畠山 正恒
理事 濱野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 古村 孝志
理事 道林 克禎
理事 村山 泰啓
監事 北里 洋
監事 鈴木 善和
監事 松浦 充宏

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント	佐々木 晶
大気水圏科学セクションプレジデント	中島 映至
固体地球科学セクションプレジデント	大谷 栄治
地球生命科学セクションプレジデント	小林 憲正
宇宙惑星科学セクション幹事	吉川 顕正
大気水圏科学セクション幹事	川合 義美
前環境災害対応委員会委員長	松本 淳

午後 14 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

7. 報告事項

(1) 大会関連報告 (濱野理事) 資料 P.1-9

2014 年横浜大会の開催状況について報告があった。参加者は 7046 人であり、年々増加傾向にある。

大会のユニオンセッションについて報告があった。(資料 P.10-22) ユニオンセッション同士の開催日時の重複が問題であるという意見があった。U-01「Forum for Global Data Sciences in Earth and Planetary Research」については村山泰啓理事、U-08「連合は環境・災害にどう向き合っていくのか?」については松本淳前環境災害対応委員長よりそれぞれ口頭で報告があった。

NASA 関連の企画についてウォリス理事より報告があった。(資料 P.23-28)

4 月 13 日に実施された、横浜市次世代育成プログラムについて畠山理事より報告があった。(資料 P.29-37)

財務担当西理事より、2014 年大会の収支について報告があった。収入も支出も同様に増加した。(別添資料)

2015 年の大会について検討した。(資料 P.38-39) 5 月 24 日(日)から 5 月 28 日(木)の 5 日間の予定で準備を進める。大会準備日程については、資料中 B 案を元に準備を進める。

(2) ジャーナル関連報告 (川幡理事欠席のため事務局による代読) 資料 P.40-41

ジャーナル編集長会議(第 2 回)、ジャーナル編集会議(第 1 回)、ジャーナル企画経営委員会会議(メール審議)が開催された。会議では投稿・出版等の状況報告や、PEPS における受理論文の目安に関する合意がなされた。本年度の出版計画や国際編集委員会の予定についても報告があった。

(3) 褒賞, 推薦等に関わる報告 (中村理事) P.42-48

公益財団法人とうきゅう環境財団より平成 26 年度「第 6 回 とうきゅう環境財団 社会貢献学術賞」受賞者の推薦依頼を受けていることが報告された。これに関しては, 大気水圏科学セクション, 地球人間圏セクション, 地球生命セクションの三者が協力して希望者を募り推薦者を決定することとした。

また, この他の褒賞への推薦依頼についても連合として対応できるよう, 今後体制を整えるとした。

(4) 委員会報告

1. 総務委員会 (古村理事) 資料 P.49

平成 26 年度に承認された共催・協賛・後援等について報告があった。

2. 広報普及委員会およびフェロー推薦委員会 (津田会長) 資料 P.50

連合フェローに顕彰された方々に原稿を依頼して冊子を制作することを検討しているという報告があった。JGL の記事として発行する。

3. 25 周年記念事業委員会 (津田会長)

25 周年記念パンフレットの英語版の進展について報告があった。

4. 環境災害対応委員会 (松本淳前委員長) 資料 P.51-52

連合大会時に開催された環境災害対応委員会について報告があった。

なお, それに関連し, 中島セクションプレジデントより日本学術会議に関する報告があった。日本学術会議では, 大規模な災害等の緊急事態に際して緊急事態対策委員会を設置し, 関連学協会と連絡をとって対応するという指針が決められた。

(5) その他

男女共同参画委員会 (中村理事) 資料別冊 P.1-6

男女共同参画委員会より, 活動報告があった。8 月 7 日 (木) ~8 月 9 日 (土) に開催される女子中高生夏の学校 2014 に, 実験・実習およびポスターを申し込んだ。

8. 審議事項

第 1 号議案 会員 (正会員) 入会承認の件 (古村理事) 資料 P. 56-63

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い, 新規入会者を承認した。

第 2 号議案 西田賞推薦・被推薦資格, ならびに審査期間設定の件 (津田会長) 資料 P. 79-86

地球惑星科学振興西田賞規則第1条(1)に定める受賞者の要件から、正会員である者の条件を外し「審査年度の4月1日時点において45歳未満である者。」と変更することを承認した。

また、審査員数を、会員数の比率に基づき、宇宙惑星科学セクション3名、大気水圏科学セクション5名、地球人間圏科学セクション3名、固体地球科学セクション7名、地球生命科学セクション2名(それぞれ1名ずつの補欠を含む)とした。

また、西田賞の設立にともない、特定資産規則を制定する予定であることが報告された。

第3号議案 国際第四紀学連合第19回大会共催承認の件 (奥村理事) 資料P.64-69

国際第四紀学連合第19回大会から共催の申請があり、これを審議した。共催を承認した。

第4号議案 委員会委員承認の件 (津田会長) 資料P.70-78

各委員会の新委員の推薦名簿が提出された。奥村理事より、環境災害対応委員会の推薦名簿に田力正好氏(地震予知総合研究振興会)が追加された。追加を含み推薦名簿を承認した。

第5号議案 国際対応の件

海外の学会会議との協調体制について審議した。その中で、AGUとのWPGMの共同開催についても検討した。継続審議とした。

第5号議案 その他

(1) 男女共同参画委員会委員長、副委員長任期の件 (中村理事) 資料別冊P.7

男女共同参画委員会委員長、副委員長の任期を1年から委員の任期と同様にするのを審議した。これを承認した。

(2) 女子中高生夏の学校2014への協賛の件 (中村理事) 資料別冊P.1-6

「女子中高生夏の学校2014～科学・技術・人との出会い～」への協賛を審議した。これを承認した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後17時30分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 26 年 6 月 2 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 3 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	濱野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印